

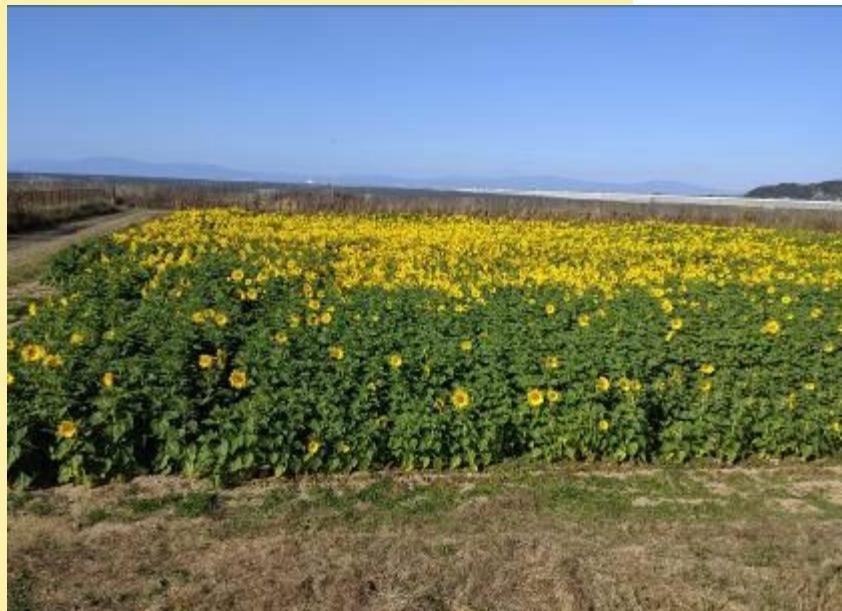
医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院

araokokoronosato

2024

令和 6 年度
年 報



フォトコンテスト入賞作品
「 大牟田のひまわり 」

医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院年報

2024(令和6)年度

目 次

はじめに	病院長 石川 智久	1
I. 病院概要		3
i. 病院理念		
ii. 概要		
iii. 沿革		
iv. 院内委員会一覧		
v. 院内会議一覧		
II. 統計		13
III. 研修・研究報告		17
i. 研修参加実績		
ii. 院内研修実績		
iii. 学会研究発表実績・院内学会実績		
iv. 実習生受け入れ実績		
IV. 部署紹介		25
V. 活動報告		35
i. 認知症疾患医療センター		
ii. グループホーム「わたぼうし」		
iii. アルコール教室		
iv. 家族会会議		
v. 行事食		
vi. レクリエーション活動		
VI. 新入職員紹介		43

はじめに

病院長 石川 智久

平素より当院の地域医療連携にご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

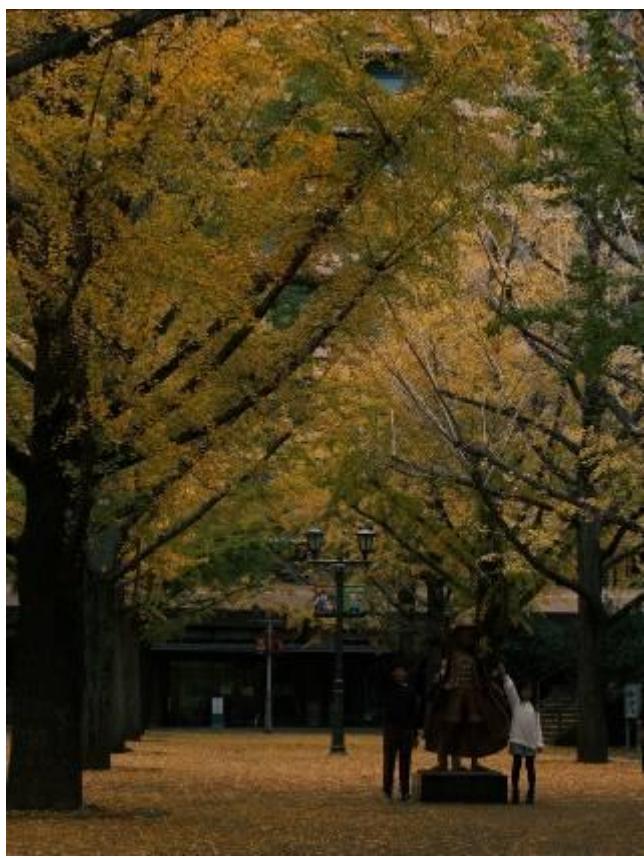
さて皆様方ご承知の通り、この1年は医療介護福祉業界にとって、非常に厳しい経営を強いられてきました。2025年6月22日に開催された第159回日本医師会代議員会の冒頭、松本吉郎日本医師会会长はあいさつの中で、医療機関の経営危機改善に向けた発言に多くの時間が割かれました。すなわち、医療介護福祉分野に関しても、経済改善にともなう賃金上昇や物価高騰などへの対応を求めるというものです。事実、2025年上半期(1~6月)の医療機関(病院・診療所・歯科医院)の倒産件数は過去最多のペースとなっており(帝国データバンク調べ)、物価・人件費の上昇による収益性悪化や建物の老朽化、経営者の高齢化と後継者不在などが背景にあると分析されています。とりわけ20床以上の中堅病院の倒産が過去15年間で最多、負債額も増加しているなど、この1年は大型倒産が目立っており、熊本・福岡でも医療介護機関の経営不振は現実化しております。

このようななか、2024年度の年報を発行するにあたり当院の状況を振り返りますと、当院でも厳しい運営状況であったことが随所に垣間見ることができます。しかしながらこのような厳しい状況の中にあっても、職員の皆様方や関係機関の皆様方のご尽力ご努力により、当院が現在も引き続き地域医療に邁進できていることに、改めて感謝申し上げる次第です。

今後も、地域の皆様が住み慣れたこの荒尾の地で生きがいをもってくらしていけるよう、当院の理念である『思いやり医療』『トータルケア』『チーム医療』を通して貢献して参ります。ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



フォトコンテスト入賞作品
「銀杏」



I. 病院概要

病院理念

1. 思いやり医療

常に思いやりのこころを忘れず、患者様中心の医療を行います。

2. トータルケア

地域・家庭・病院が一体となって、総合的で一貫したケアを行います。

3. チーム医療

医療と保健・福祉が連携して、チーム医療を行います。

基本方針

私たちは安全で信頼される医療を根本に、上記の3つの理念を柱として、

人にやさしい病院づくりと、精神科医療サービスを提供する機関として、

地域社会に開かれた病院づくりを目指しています。



I

病院概要

名称	医療法人 洗心会 荒尾こころの郷病院
所在地	〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992 番地
理事長	熊本 孝司
病院長	石川 智久
診療科目	精神科・心療内科・内科・歯科
診察時間	診療時間 9:00~12:30 13:30~17:00 受付時間 8:30~12:00 13:00~16:00 ※新規の受診に際しましては予約制となっております
休診日	土・日、祝日 正月（12/30~1/3）

荒尾こころの郷病院 病床数 272 床

届出施設基準

- ・精神病棟入院基本料 15:1
 - 看護補助加算 2 50:1
 - 看護配置加算（看護師 70%以上配置）
 - 重度認知症加算 → [南 1 病棟 60 床 ・ 5 病棟 54 床]
- ・精神療養病棟入院料
 - 退院調整加算
 - 重症者加算 1 → [南 2 病棟 56 床]
- ・認知症治療病棟入院料 1（認知症治療病棟 1 に個室 12 床あり）
 - 退院調整加算
 - 認知症夜間対応加算 → [西 1 病棟 52 床 ・ 西 2 病棟 50 床]
- ・救急医療管理加算
- ・医療保護入院等診断料
- ・医療安全対策加算 1（医療安全管理専従配置）
- ・医療安全対策地域連携加算 1
 - 患者サポート体制充実加算
 - 入院時食事療養（1）
 - 認知症専門診断管理料
 - 精神科訪問看護
 - 精神科デイ・ケア（大規模）
 - 精神科デイ・ナイト・ケア
 - こころの連携指導料（Ⅱ）
 - 重度認知症患者デイ・ケア料
 - 精神科応急入院施設管理加算
 - 精神科身体合併症管理加算
 - 後発医薬品使用体制加算
 - 診療録管理体制加算 2
 - 薬剤管理指導料
 - 精神科作業療法
 - 精神科ショート・ケア（大規模）
 - 臨床研修病院入院診療加算（協力型）
 - 感染対策向上加算 3（連携強化加算）

I

倫理綱領

1. 荒尾こころの郷病院の使命

私たちは、組織体として医の倫理に基づき、精神障害者の医療、福祉ならびに保護を行い、社会復帰を促進します。

2. 精神科病院の倫理

私たちは、奉仕の精神をもって、自己の技能と良心を医療に捧げるとともに、人間愛をもって、患者様ならびにそのご家族に接します。

3. 人権尊重と守秘義務

私たちは、とくに患者の基本的人権を尊重するとともに、守秘義務についても厳重に守ります。

4. 生涯研修

当院に勤務するすべての従事者は、医学的知識向上のため、たゆみなき研修に励みます。

5. 地域医療

荒尾こころの郷病院職員は地域における責務を認識し、その地域の精神医療のみならず、精神保健福祉活動にも積極的に参加します。

6. 病院管理と運営

病院管理運営は、あくまでも医師が責任をもって、医学的良心を堅持し、営利のみを目的とした医療は厳に慎みます。

荒尾こころの郷病院 職員の3つの誓い

- ご利用者に喜んでいただける「こころのケア」を提供し、あらゆる患者様の権利を尊重していくこと
- 患者様のご健康の回復を願い、笑顔で接すること
- 健全なケア提供が継続できるように、病院全体を明るく、健康的に運営していくこと

I

患者さまの権利と責任

患者さまの権利

良質な医療を受ける権利

患者さまは、どなたでも平等に良質な医療を受ける権利があります。

選択の自由の権利

患者さまは、医療機関を自由に選択・変更する権利と、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

自己決定の権利

患者さまは、十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意思で選択・拒否する権利があります。

説明を受ける権利

患者さまは、病気の内容やその治療・検査などについて、分かりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

情報の開示を求める権利

患者さまは、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

プライバシーの保護と秘密を保持される権利

患者さまは、病院内でのプライバシーを守られる権利があり、診療の過程で得られた個人情報や医療上の秘密を厳守される権利があります。

尊厳を得る権利

患者さまは、いかなる時にも人格的に尊厳を得る権利があります。

患者さまの責任

- ・治療を受けられる患者さまとして、正確なご自身の精神的・身体的・社会的な情報を医師に伝えていただく責任があります。
- ・患者さまご自身が医療へ参加していただく責任があります。
- ・他の患者さまの診療に支障を与えない配慮をしていただく責任があります。

I

荒尾こころの郷病院のあゆみ

年	月	おもな出来事
昭和 35	4	法人設立
昭和 43	7	医療法人 洗心会 荒尾保養院開設 鉄筋 3 階建て本館 124 床 診療科目: 精神科・神経科
昭和 48	6	本館増築(増床) 272 床
平成 4	2	5 病棟増築
平成 5	9	入院時食事療養(I)開始
平成 6		訪問看護開始
平成 7	8	精神科作業療法開始
平成 10	1	南病棟増築 1 階 老人性痴呆疾患療養病棟 A 南 1 病棟 60 床 2 階 精神療養病棟 A 南 2 病棟 56 床を開設 30 周年誌「ふれあい」発行
平成 12	3	南 1 病棟申請 60 床のうち 36 床の部分について介護療養型医療施設として指定
	4	薬剤管理指導料開始
	8	精神科デイ・ケア(大規模)開始
平成 13	4	精神科救急医療施設指定
平成 16	5	褥瘡患者管理加算開始
	7	医療保護入院等診療料開始
平成 17	9	南 1 病棟 介護療養型医療施設(36 床)指定辞退 老人性認知症疾患療養病棟 1 へ変更 (病床数変更 24 床→60 床)
平成 18	4	栄養管理実施加算開始 精神科ショート・ケア(大規模)開始 精神一般病棟 4 棟 216 床 (南 1 病棟 60 床 2 病棟 57 床 3 病棟 45 床 5 病棟 54 床)
	8	応急入院指定病院として指定
	12	特定病院及び特定医師の認定
平成 19	7	【荒尾こころの郷病院】に改称 診療科目: 精神科・神経科・内科・心療内科
	8	管理棟・西病棟・給食室増築

年	月	おもな出来事
平成 19	9	老人性認知症疾患治療病棟 1 102 床 (西 1 病棟 52 床 西 2 病棟 50 床) 精神一般病棟 2 棟 114 床 (南 1 病棟 60 床 5 病棟 54 床) 歯科開設 診療科目追加
	10	精神科デイ・ケア、精神科作業療法室改築
平成 20	4	医療安全対策加算 1 開始 精神科身体合併症管理加算開始 精神科デイ・ナイト・ケア開始(週 1 日)
平成 21	6	精神科デイ・ナイト・ケア週 3 日へ変更
平成 22	4	救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算開始 後発医療品使用体制加算開始
平成 23	4	熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター認定
	5	認知症専門診断管理料開始 グループホームわたぼうし開設
	6	認知症治療病棟 退院調整加算開始
	8	(財) 日本医療機能評価機構認定 Ver.6
平成 24	4	救急搬送患者地域連携受入加算開始
	6	患者サポート体制充実加算開始
平成 25	8	認知症初期集中支援チーム設置促進事業を荒尾市から受託
平成 29	10	(財) 日本医療機能評価機構認定 3rdG Ver.1.0
平成 30	4	王丸道夫病院長 瑞宝小綬章受賞
	9	診療録管理体制加算 2 開始
	12	50 周年誌発行
令和 2	9	認知症夜間対応加算開始
令和 3	6	(財) 日本医療機能評価機構認定 3rdG Ver.2.0
令和 4	8	感染対策向上加算 3 開始
令和 5	5	重度認知症デイ・ケア 「メディカルデイケア にじの郷」開始
令和 6	10	外来 院外処方箋発行開始

I

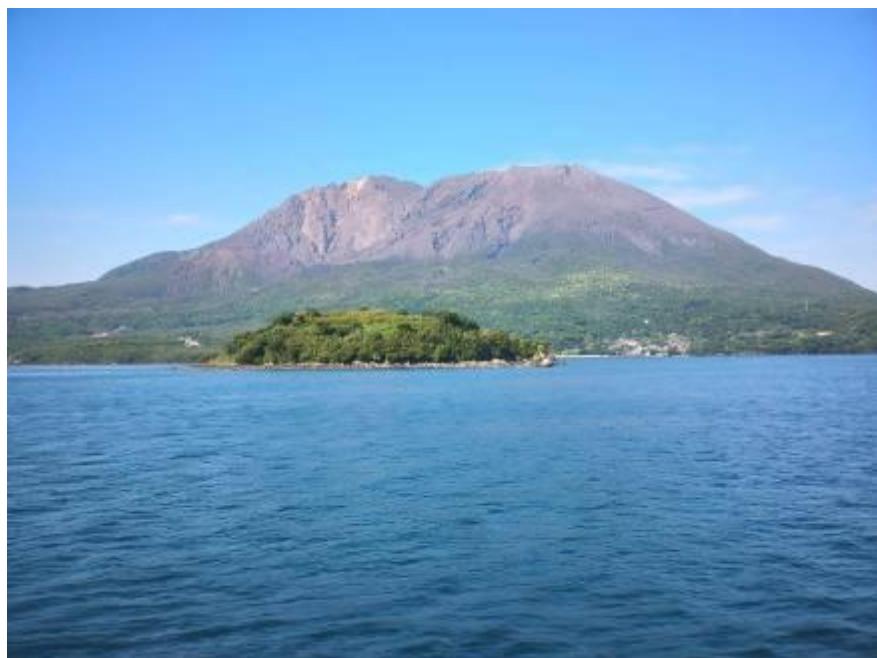
院内委員会一覧

委員会名	委員長	会議日時	
医療安全管理委員会	石川	毎月第4月曜(ラウンド)	13:30~
C V P P P		毎月第4火曜(会議)	13:30~
転倒転落防止対策チーム		毎月第3月曜(ラウンド)	16:00~
院内感染委員会	松山	毎月第1水曜	15:00~
N S T 委員会	江頭	毎月第4水曜	13:30~
褥瘡対策委員会	江頭	毎月第4水曜	14:00~
摂食機能委員会	江頭	奇数月第3水曜	13:30~
栄養管理委員会		6・9・12・3月第4水曜	13:30~
診療情報管理委員会	石川	毎月第4火曜	医安終了後
I T 情報管理委員会	石川	5・9・1月第1木曜	16:00~
個人情報保護委員会			
行動制限最小化委員会	中村	毎月第2火曜	15:30~
薬事委員会	清水	毎月第4火曜	医安終了後
教育委員会	石川	毎月第1火曜	15:30~
レクリエーション委員会	前田	毎月第2月曜	15:30~
接遇委員会	前原	毎月第2木曜	16:00~
防火防災委員会	米来	毎月第1月曜	13:30~
医療ガス安全管理委員会		随時	
退院推進委員会	江頭	毎月第3火曜	15:30~
広報委員会	大淵	毎月第4火曜	16:00~
労働安全衛生委員会(ハラスマント委員会)	米来	毎月第4火曜	医安終了後
職場のメンタルヘルス事業	原田	随時	
倫理委員会	中村	毎月第4火曜	医安終了後
患者サポート体制充実対策委員会	石川	随時	
認知症対策委員会	石川	毎月第3火曜	13:30~
寝具管理委員会	内田	毎月第4水曜	15:00~
看護基準手順会議	佐藤	毎月第1木曜	13:30~
グループホーム委員会	野口	毎月第4木曜	16:00~
電子カルテ委員会	米来	随時	
病棟クラブ会議	江田	2・6・10月	14:00~

I

院内会議一覧

会議名	目的	担当	会議日時
三役会議 三役ミーティング	病院全体の運営上の意思決定機関とする。病院内の情報の共有、課題に対し検討を行う	石川	毎月第1火曜 13:00～ 毎週木曜 8:30～
管理運営会議	理事会・院長会の報告 現在・将来に向けての問題点や検討事項 返戻報告・検討	石川	4・7・10・1月 第2火曜 13:30～
医局会議	病院の運営上の課題を協議 チーム医療の充実／各部門よりの検討・報告	石川	毎月第2火曜日 13:00～
事務連絡会議 購買委員会	諸問題の検討・解決	米来	毎月第1水曜 11:00～
看護職員の業務分担推進会議	看護職員の負担軽減及び処遇改善を図る	岩井	4月 管理運営会議終了後
師長・主任合同会議	役職としての個々の役割を理解し、職務を果たす 医療情勢の進歩をいち早くキャッチし自己研鑽する	岩井	毎月第4金曜 15:30～
師長会議	看護運営全般について検討	立川	毎月第2金曜 15:30～
主任会議	看護業務改善・コスト管理 マニュアル作成・検討	松藤	毎月第3金曜 15:00～
ケア会議	ケアに関する検討・ケアマニュアル作成	田畠	毎月第3水曜 15:00～
家族会会議	患者家族と協力して看護の充実を図り、お互いの親睦を図る	野口	随時 15:30～
互助会会議	融和共済を図り、相互福祉の精神により、よりよき職域の建設に努める	坂上	随時
認知症初期集中チーム員会議	支援者の方針検討	松浦	毎月第3火曜 14:00～

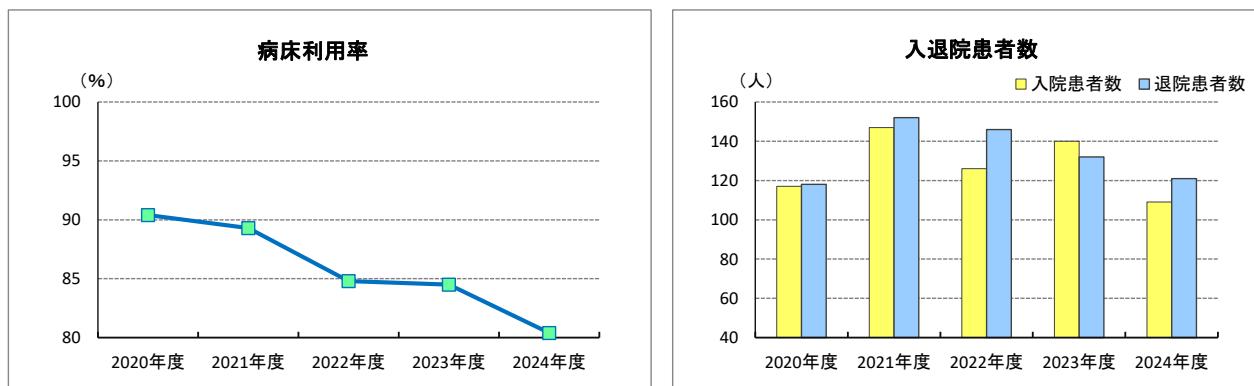
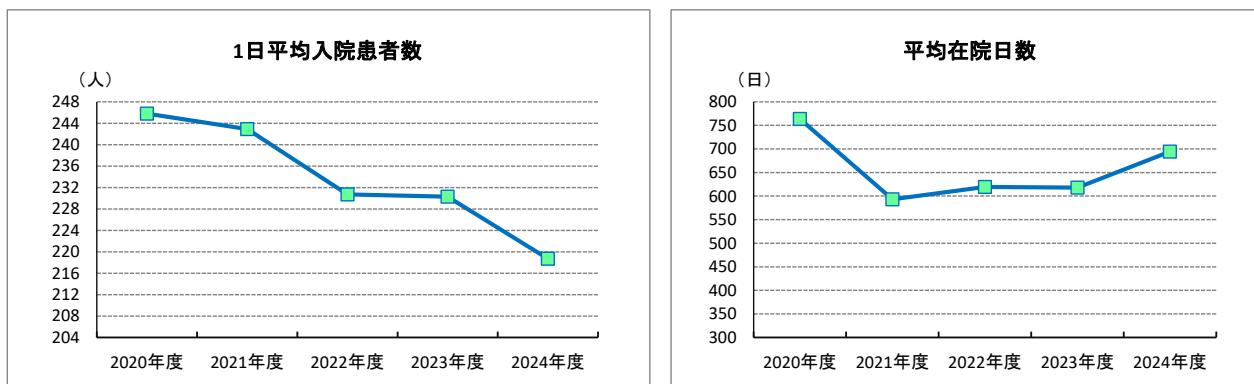


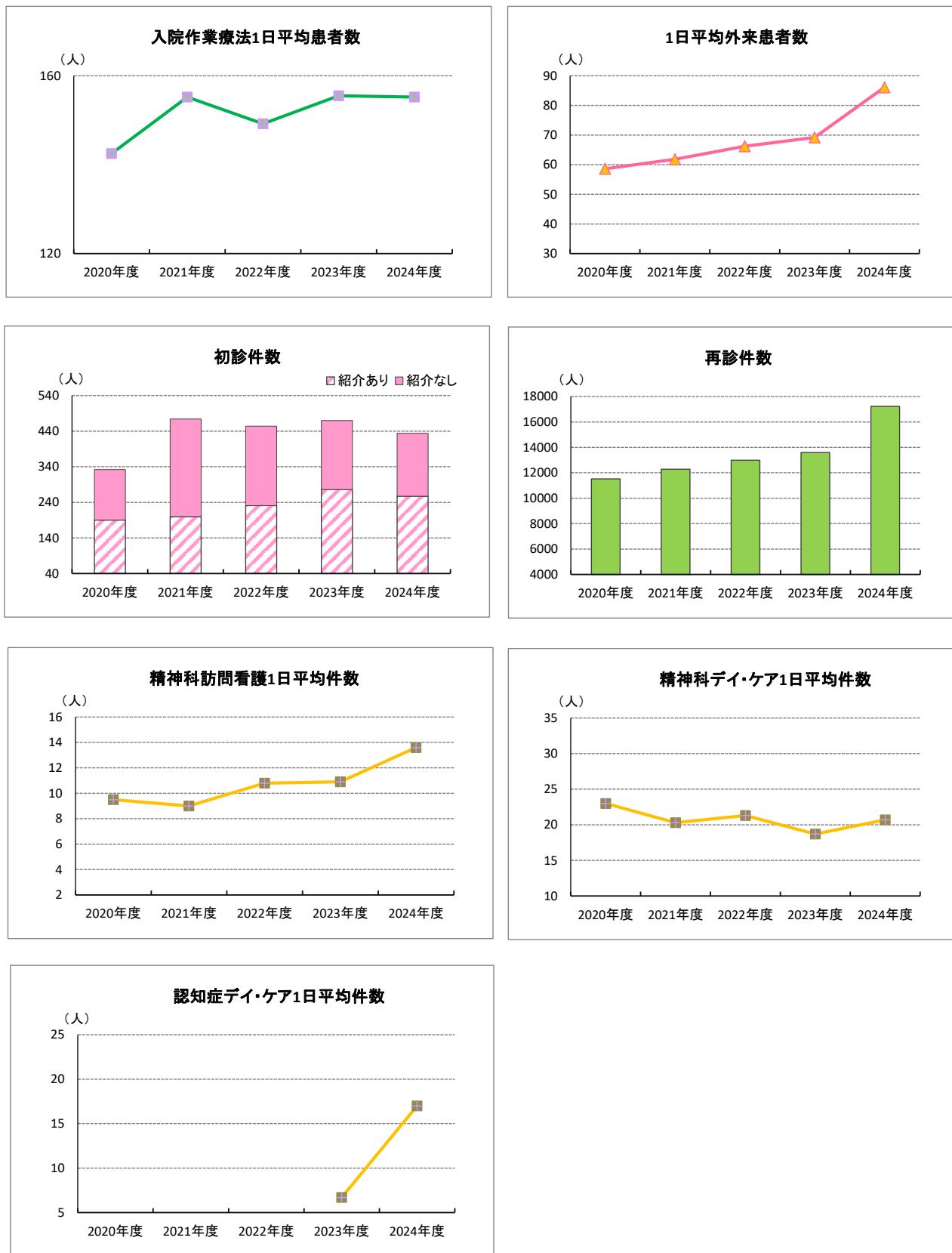
フォトコンテスト入賞作品
「 桜島 」

II. 統計

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
入院患者情報	1日平均入院患者数	245.8	242.9	230.7	230.3	218.7
	平均在院日数	763.7	593.2	619.4	618.2	694.2
	病床利用率(%)	90.4	89.3	84.8	84.5	80.4
	入院患者数	117	147	126	140	109
	退院患者数	118	152	146	132	121
	入院作業療法1日平均件数	142.5	155.2	149.2	155.5	155.2
外来患者情報	1日平均外来患者数	58.6	61.8	66.2	69.2	86.1
	初診件数	332	474	454	470	434
	(うち紹介数)	190	200	231	276	257
	再診件数	11,523	12,277	12,983	13,588	17,234
	精神科訪問看護1日平均件数 (認知症訪問看護含む)	9.5	9.0	10.8	10.9	13.6
	精神科デイ・ケア1日平均件数 (ナイトケア・ショートケア含む)	23.0	20.3	21.3	18.7	20.7
	認知症デイ・ケア1日平均件数				6.7	17.0

※認知症デイ・ケアR5年度5月～開始







フォトコンテスト入賞作品
「 なに造ろっか～ 」

III. 研修・研究報告

医局 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第121回日本内科学会講演会	4月12日～14日	東京	五十嵐
第25回日本認知症ケア学会大会	6月15日～16日	東京	石川
第120回日本精神神経医学会	6月21日～22日	札幌	石川
第39回日本老年精神医学会	7月12日～13日	札幌	石川
第29回日本神経精神医学会学術集会	12月6～7日	大阪	石川

看護部 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
令和6年度熊本精神科病院協会看護部会総会・研修会	4月27日	熊本	古林
第49回日本精神科看護学術集会	6月27日～28日	熊本	堀・松藤
第18回九州精神科病院協会各県看護部長等代表者会議	6月28日	長崎	古林
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	7月19日	熊本	立川
2024年度熊本県DPAT研修会	8月27日	熊本	元田
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	8月29日	熊本	佐藤・鹿川
熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援管理者基礎研修	9月6日	熊本	古林
有明地域看護職員研修会(看護管理)	9月12日	玉名	岩井
日精看熊本支部研修会 看護研究発表会	9月21日	熊本	福市・中島
熊本県市看護職員認知症対応力向上研修	10月25日	Web	松藤
令和6年度有明地域看護職員研修会(感染対策)	11月8日	荒尾	立川
医療安全管理会議	11月11日	熊本	古林
熊本県精神科病院協会看護部会 看護管理者研修会	11月24日	Web	岩井
九州厚生局主催令和6年度医療安全ワークショップ	11月27日	Web	古林
第69回九州精神医療学会	11月28日～29日	鹿児島	松井
令和6年度CVPPPフォローアップ研修	11月30日	熊本	元田・山本
こころの健康フェスタ	12月1日	熊本	松藤
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	2月22日	Web	浅名・奥・松藤
第87回看護管理者研修会	3月8日	熊本	浅名・奥・松藤

放射線室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第80回日本放射線技術学会総会学術大会	4月11日～14日	横浜	本池
認知症診療WEBセミナーin熊本	8月29日	Web	本池
第40回脳機能画像研究会	9月14日	Web	本池
令和6年度死亡時画像診断(Ai)研修会	11月13日	Web	本池
第13回X線CT認定技師認定試験	2月2日	熊本	本池

認知症疾患医療センター 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第25回一般社団法人 日本認知症ケア学会	6月15日～16日	東京	嶋田(口頭発表)
第39回 日本老年精神医学会	7月12日～13日	札幌	宗(口頭発表)
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	8月24日	熊本	宗・井上・嶋田・上村
	9月2日		宗・井上 嶋田(事例発表)
	3月1日		宗・井上・嶋田・上村
有明圏域地域包括支援センター連絡会	11月8日	長洲	宗・嶋田
熊本県若年性認知症事業周知受入促進啓発研修	1月22日	荒尾	宗
第12回認知症疾患医療センター全国研修会(長野大会)	1月25日	Web	宗・井上 嶋田・上村
くまもとオレンジフェスタ	1月30日	熊本	宗・嶋田

医療相談室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
熊本県医療ソーシャルワーカー協会社員総会並びに創立80周年記念研修会	6月8日	熊本	野口
地域精神保健福祉医療担当者研修会	6月13日	熊本	今本
熊本県精神保健福祉士協会総会並びに研修会	6月22日	熊本	内田・野口
熊本県精神科病院協会コ・メディカル部会(総会・研修会)	7月30日	Web	江口・内田・ 野口・今本
熊本県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修	8月6～8日	熊本	野口
熊本県DPAT研修会	8月27日	熊本	江口
精神科救急情報センター相談員研修	9月3日	熊本	野口
熊本県医療ソーシャルワーカー協会 ソーシャルワーカー研修	9月7日	玉名	野口(発表者)
熊本県精神障がい者家族大会	9月13日	熊本	今本
熊本県医療ソーシャルワーカー協会 定例研修	11月3日	Web	野口
みんなねっと九州・沖縄ブロック 精神保健福祉研修会	11月21日	福岡	今本
熊本県精神科病院協会コ・メディカル部会	2月28日	Web	今本

臨床検査室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
熊本県臨床検査精度管理研修会	2月2日	Web	田中
ECHO九州2024心エコー図講習会	7月7日・9月1日 11月11日・1月12日	Web	田中

重度認知症デイ・ケア 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
地域拠点型認知症疾患医療センター事例検討会	8月10日	荒尾	松岡
	2月13日		松岡・宮川
第39回 日本老年精神医学会	7月12日～13日	札幌	松岡(ポスター発表)
第58回 日本作業療法学会	11月9～10日	札幌	松岡(ポスター発表)

作業療法室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
九州作業療法学会2024	6月22日・23日	大分	大淵
専門作業療法士取得研修 認知症基礎Ⅱ	7月1日～8月31日 8月1日～9月30日	Web	平山・田上
第58回日本作業療法学会	11月8日～11月10日	鹿児島	藤木・今林
第69回九州精神医療学会	11月28日・29日	鹿児島	藤木・今林
厚生労働省指定臨床実習指導者講習会	12月14日・15日	Web	岩本

栄養科 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
ケアテックス福岡'24 ケアフード展	7月3日	福岡	宮地
第1回熊精協栄養部小委員会研修会	6月22日	熊本	宮地
第2回熊精協栄養部小委員会研修会	2月18日	熊本	古賀
熊本県精神科協会災害時における	3月18日	山鹿	宮地

臨床心理室 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
第40回子どもの心身症研究会	7月6日	熊本	猿渡・宮野・高村
有明地区看護、コ・メディカル研修会	7月25日	当院	猿渡・高村
熊精協コ・メディカル部会総会・研修会	7月30日	Web	宮野
地域拠点型認知症疾患医療センター事例検討会	8月10日	荒尾	全員
熊本県依存症治療拠点機関研修事業薬物研修	8月22日	Web	猿渡・高村・大城
令和6年度熊本県DPAD研修	8月27日	熊本	大城
日本精神科病院協会学術教育研修会	10月24～25日	広島	宮野、大城
地域拠点型認知症疾患医療センター事例検討会	2月13日	荒尾	宮野・高村・大城
令和6年度性に関する教育等を実施する専門職への研修会	2月19日	熊本	高村
熊精協コ・メディカル部会研修会	2月28日	Web	猿渡
熊本県認知症疾患医療センター事例検討会	3月1日	熊本	宮野

事務部 研修参加実績

研修会・学会名	開催日	場所	参加者
算定基礎届事務講習会	6月12日	玉名	松藤
精神科協会事務長例会・総会	6月14日	熊本	米来
職場リーダー向けリスクアセスメント研修	7月26日	福岡	森藤
電子カルテ導入に伴う病院見学(聖ルチア病院)	10月10日	久留米	森藤

院内研究発表実績

研修会	開催日	演題	発表者
外部報告会	令和6年10月31日(木) 視聴期間 11月5日～30日	【日本精神科看護協会学術大会】 精神科閉鎖病棟における元気回復行動プラン(WRAP)を活用した看護介入の効果～リカバリーとメンタルヘルスの比較	南1病棟 平野佑
		【日本精神科医学会】 認知症高齢者の食事介助支援に関するスタッフの不安と困難感	南2病棟 松井優子
		【日本精神科医学会】 認知症高齢者の食事介助に対する多職種共通プログラムの検討	西1病棟 浅名理世
		【九州精神医療学会】 精神科身体合併症病棟における看取りケアに関するカンファレンスの効果	西2病棟 平田結子
		【九州精神医療学会】 精神科療養病棟における退院支援システムの作成	5病棟 木村聰美
		【九州精神医療学会】 パウムテストの各指標と認知機能低下との関連	臨床心理室 高村真穂
		【日本認知症ケア学会】 認知症の人が住み慣れた地域で長く生活するために精神科病院の果たす役割～認知症疾患医療センターと精神科病院との連携で何ができるか～	疾患センター 嶋田恵子
令和6年度 第38回 院内看護、 コ・メディカル 研究発表会 (大会議室)	令和7年 2月27日 視聴期間 3月10日～ 4月14日	精神科療養病棟の多職種連携パス活用における看護実践に対する認識と評価	南2病棟 荒井七海
		認知症病棟に勤務する外国人介護者の就労および生活に対する認識	西1病棟 山本奈央子
		精神疾患患者におけるグアーガム分解物摂取の排便および空腹時血糖への効果～グアーガム分解物摂取の前後比較～	栄養課 古賀皓民
		自発性の低下がある患者に対する認知行動療法プログラムを活用した看護介入の効果	南1病棟 原田祐美
		精神科病院の入院患者における側頭筋厚(TMT)と認知機能及び転倒リスクとの関連	放射線 本池直人
		精神科身体合併症病棟におけるデスカンファレンシートの改訂とターミナルケアに対する看護師の意識の変化に関する研究	5病棟 新澤弥子
		認知症治療病棟における食事介助に関する多職種共通教育プログラムによる病棟職員の理解および不安・困難感への影響	西2病棟 境田桃子
		【特別演題】 アルツハイマー病の新しい治療薬について	医局 石川智久 病院長

院外研究発表実績

研修会	開催日	演題	発表者
日本認知症ケア学会	6月15～16日	認知症の人が住み慣れた地域で長く生活するために精神科病院の果たす役割～認知症疾患医療センターと精神科病院との連携で何ができるか～	疾患センター 嶋田恵子
日本精神科看護協会全国学術大会	6月28～29日	精神科閉鎖病棟における元気回復行動プラン(WRAP)を活用した看護介入の効果～リカバリーとメンタルヘルスの比較～	南1病棟 堀真栄
日本老年精神医学会	7月12～13日	地域包括ケアシステムにおける認知症疾患医療センターの役割に関する一考察～気づき・つなげるハブステーションとなるために～	疾患センター 宗久美
		攻撃的行動が問題となるレビー小体型認知症に対する重度認知症デイケアでの取り組み	にじの郷 松岡明子
有明地区看護、コ・メディカル研修会	7月25日	デマンドコントロールの自動制御(空調機)による省エネ効果について	事務部 松岡裕一
		精神科訪問看護利用者の入退院との関連	精神科訪問看護 北野祐介
日本精神科看護協会	9月21日	認知症高齢者へのフットケアを困難にする要因とスタッフの認識	西1病棟 中島香織
		精神科身体合併症病棟におけるデスカンファレンス導入に向けた実施方法と内容の分析	5病棟 坂田千香子
日本作業療法学会	9月21日	重度認知症デイケア「にじの郷」を開設して～当該圏域における役割を考える～	にじの郷 松岡明子
九州精神医療学会	11月28～29日	認知症高齢者の食事介助支援に対する多職種共通教育プログラム作成	西2病棟 樺島典子
		精神科療養病棟における多職種連携パスの活用に対する認識	南2病棟 西川朋子
		精神科作業療法士の職業的アイデンティティに関する研究	リハビリテーション科 藤木昭彦

院内研修実績

研修会名	開催日	対象者
院内看護、コ・メディカル研究発表会	2月27日 3月10日～14日視聴	全職員
有明地区看護、コ・メディカル研修会	7月25日 3月10日～14日視聴	有明地区4病院
新人職員研修	5月14日・7月17日 11月19・26・28日	新入職員
外国籍職員研修	6月20日	外国籍新入職員
行動制限最小化委員会	9月24日～27日 3月1日～14日	全職員
院内感染対策委員会	9月1日～13日 3月5・6日	
医療安全対策委員会	9月24日～27日	
個人情報保護委員会	9月9日～30日	
IT情報管理委員会	9月9日～30日	
接遇委員会	7月16日～26日	
防火防災委員会	11月12日～30日	
認知行動療法研修会	7月16日	
倫理委員会研修①	2月13日～28日	
倫理委員会研修②	3月3日～28日	
教育委員会全体研修	10月21日～31日	全職員 (対面研修は後日ビデオ等 視聴期間あり)
一般救急研修	10月31日	
外部報告会	11月20日	
認知症研修	1月15日	
精神保健福祉法研修	2月21日	
統合失調症	2月21日	
気分障害研修		

看護部門院内研修実施実績

研修コース名	開催日	対象者	内容
集合研修 (部署にて開催)	4月～5月	看護職・介護職	①令和5年度部署目標把握(達成発表会) ②令和5年度部署目標把握(達成発表会)
看護職員向け看護補助者との協働に関する研修	7月～10月	看護職	①看護職と看護補助者との協働推進の背景 ②看護補助者の位置づけ ③看護補助者との協働推進における看護業務の基本的な考え方 ④看護補助者と協働する為の情報共有とコミュニケーション ⑤自施設における看護補助者にかかる規定及び運用(演習)
看護補助者研修	①11月6日・7日・13日・14日 ②12月4日・5日・11日・16日 ③1月8日・9日・15日・12日	看護補助者	①医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解 ②チームの一員としての看護補助業務の理解 ③守秘義務、個人情報保護の基礎知識 ④感染予防 ⑤医療安全の基礎知識 ⑥患者誤認を防止するための基礎知識 ⑦事故発生時の対応
看護補助者技術研修	①6月19日・28日 ②7月1日・4日	看護補助者	①②正しいおむつの当て方 ③アテントマイスターープロ研修

看護部 実習受け入れ実績

学校名	実習内容	人数	期間
九州看護福祉大学	精神看護学	7名	9月2日～9月13日
九州看護福祉大学	精神看護学	8名	9月30日～10月11日
九州看護福祉大学	精神看護学	7名	11月11日～11月22日
有明高等学校看護専攻科	老年看護	4名	5月26日～6月6日
有明高等学校看護専攻科	老年看護	4名	9月1日～9月12日
有明高等学校看護専攻科	老年看護	4名	9月16日～9月26日
有明高等学校看護専攻科	老年看護	4名	10月20日～10月31日
有明高等学校看護専攻科	老年看護	4名	11月4日～11月14日

医療相談室 実習受け入れ実績

学校名	実習内容	人数	期間
フチガミ医療福祉専門学校	長期実習	1名	7月3～14日・8月30～31日
九州医療専門学校	長期実習	1名	10月26日～12月11日

リハビリテーション科作業療法室 実習受け入れ実績

学校名	実習内容	人数	期間
熊本駅前看護リハビリテーション学院	臨床実習	1名	4月10日～6月10日
熊本保健科学大学	臨床実習	1名	5月15日～7月15日
熊本総合医療リハビリテーション学院	臨床実習	1名	5月15日～7月8日
神村学園	臨床実習	1名	6月19日～8月12日
九州中央リハビリテーション学院	臨床実習	1名	7月31日～9月23日
帝京大学	臨床実習	1名	11月27日～1月27日
熊本総合医療リハビリテーション学院	評価実習	2名	10月23日～11月11日 11月20日～12月9日
熊本総合医療リハビリテーション学院	見学実習	1名	2月19日～2月22日

IV. 部署紹介



部署紹介

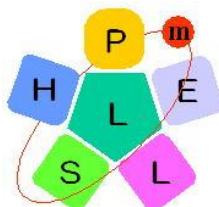
当院には様々な部署があり、患者様やご家族をトータル的にサポートするシステム作りに取り組んでいます。

医療安全管理室

専従の医療安全管理者を配置し、医療の質を管理することにより、療養中の患者様の安全確保に努めております。

このほかにも、医薬品の安全管理（副作用情報の収集）や、院内感染対策と感染症の流行情報の把握、医療機器の保守管理と安全使用についての情報収集を行っています。また、院内で発生したヒヤッとした事例を収集しており、その数は年間 1,000～1,700 件程あり、その分析により重大事故に対する予防措置を講じています。

令和2年度より、転倒転落防止対策チームを結成し、薬剤師、作業療法師、管理栄養士、看護師、医療安全管理者によるラウンド・事例検討会を実施し、骨折事故発生の軽減に努力しております。このほかにも患者様が安心して療養に専念できる環境について、定期的に担当者が院内を巡回し、院内での重大事故及び感染発症ゼロをめざして取り組んでいます。私たちこころの郷病院職員は、これからも安心・安全な医療の提供に努力して参ります。ご不満な点がございましたら、いつでもご遠慮なくお声をかけてください。



薬局

薬局では、薬剤師・薬局助手 計 6 名で外来・入院患者様のお薬の調剤、服薬指導や外来患者様へのお薬の情報提供、患者様が持参されたお薬の鑑別および医薬品情報の収集などを行っています。

患者様に、より早く正確に、お薬と情報を提供できるように日々心がけています。お薬のことで、わからない事や飲みにくい事など、何かございましたら気軽にご相談ください。



なお、お薬手帳をお持ちの患者様は、受付時にご提出をお願い致します。



外来

荒尾こころの郷病院外来では、認知症、うつ病や神経症などのストレス性障害睡眠障害等のこころの病の患者様の困りごとや悩み相談から始まり、個人に合った検査や治療を提供しています。

また、熊本県の地域拠点型認知症疾患医療センターに指定され、認知症疾患に関する鑑別診断や専門医療相談を行い、有明地域で認知症疾患をお持ちのご本人・ご家族様の日常生活が安心して過ごして頂けるよう、一役を担っていきたいと思っています。これからもかかりつけの先生方や施設事業者の方々、ご家族様と連携を図り、ご本人様の生活が安心して、居心地よいものになるように尽力を尽くしていきたいと考えています。

新規の受診は、予約制となっており、診察日まで“すこし”時間がかかる場合ございます。予めお電話でお問い合わせください。
相談員が事前に現在のご様子をお伺いし担当のドクターと診察日を決定したうえで、ご連絡致します。

現在、新型コロナウイルス感染対策を当院でも行なっております。
安全な診察の為に、来院の際はご協力をお願いいたします。



事務部



私たち事務部は、総務課と医事課、計15名で業務に励んでいます。

総務課は、働きやすい職場作りを目指し、労働環境の改善、設備管理、人事管理や勤怠表作成、経理財務管理等、職員のため縁の下の力持ちとして頑張っています。また、様々な書類作成にかかる為今年度より2名増員を行いました。



医事課は、保険請求業務、患者さまの預り金管理や入院手続き等が主な仕事ですが、病院の顔として患者さま、ご家族さまに満足していただけるよう常に「目配り気配り心配り」を大切に日々努力しております。

これからも当院を選んで来院していただいた、すべての皆さんに寄り添えるよう思いやりの心をもって対応してまいります。



南 1 病棟

南 1 病棟は、精神科の閉鎖病棟です。幻覚や妄想、考えがまとまらないといった症状のある方が入院し、治療を受けています。病棟では、急に症状が強く出た「急性期」の方から、長く治療を続けている「慢性期」の方まで、さまざまな症状の方に対応しています。

治療はおもにお薬による治療（薬物療法）、応用的動作能力、社会的適応能力の回復に向けた治療や訓練、指導（作業療法）、人間同士の交流を通じて症状や苦痛に介入する治療（精神療法）を行っています。症状が安定するまでには時間がかかることもあります、長期間の入院となることもあります。

入院中は、安心して過ごしていただけるよう、作業療法やレクリエーション（体を動かす活動やゲームなど）を取り入れて、生活リズムを整えながら、少しづつ回復を目指します。



南 2 病棟

南 2 病棟は、精神療養病棟で男女混合の開放病棟です。当病棟の患者様は、症状の安定された患者様や退院を目指とされる方、長期的に治療・療養の必要な方へ、OT（作業療法）・日常生活指導を行い、個人の能力に応じた日常生活の支援や様々な活動を提供しています。季節に応じた病棟レクや、活動の充実を図るため新たな活動の計画、下肢筋力体操をメインにレインボークラブという運動クラブの運営、楽しみとなるようデリバリーのお弁当を頼む食事会の開催、買い物ツアー等地域にも目を向けた支援を可能な限り現在も取り入れています。今後も社会生活能力維持・向上、また日々、運動を行うことで健康に過ごせるようになるなど、その方に合った目的を患者様と一緒に見つけ、達成できるように他職種連携を図りながら取り組んでいきたいと思います。



西 1 病棟

西 1 病棟は、認知症を抱える方々が安心して過ごせるよう、専門的なケアを提供する場所です。

ここでは、症状の進行度や個々の状態に合わせた個別ケアが提供されます。転倒防止の為の環境整備や、徘徊への理解ある対応、そして記憶障害を持つ方々への声かけの工夫など、専門的な知識と経験を持つスタッフが多職種と連携を密に行ない細やかなケアを心がけています。また、日々の生活援助に加え、認知症の進行を穏やかにするレクリエーションや季節行事に合わせたレクリエーションを通じて、生活に潤いと刺激を提供し、患者様に楽しい雰囲気を感じてもらうようしています。

私達スタッフは患者様だけでなく、ご家族様の不安にも寄り添い情報共有や相談を通じて、共に支える体制が整っています。認知症と共に生きる方々が、自分らしく尊厳を持って過ごせるよう、多職種が連携し、質の高いケアを目指していく様子を紹介します。



西 2 病棟

西2病棟は認知症治療病棟です。認知症による周辺症状（夜間せん妄・不眠・幻覚・妄想・徘徊・抑うつ・暴力・異食など）で日常生活が困難になっている患者様に対し、専門的なケアを行い周辺症状の早期改善に努めています。

常に安全を意識し、患者様が笑顔で安心して入院生活が送れますように、患者様の立場に立った優しく思いやりのある看護・介護を提供しております。生活機能回復訓練と並行して、精神科作業療法も実施しています。それぞれの患者様の特技や、楽しみにも着目し、より個別性のある活動を実施しています。

また、夕方には活動とは別に、個別に過してもらえる空間作りや、楽しみなどの余暇活動も実施しています。

【活動内容】風船バレー、頭の体操、歌体操、棒体操、歌謡ショー、創作、映画鑑賞、カラオケなど



5 病棟

5 病棟は精神一般病棟(閉鎖病棟)で平成 4 年に建築され、当院の中でも最も古い建物です。

1 階が身体合併症治療病棟、2 階が男性の精神一般・PICU(保護室)となっており、構造上において機能分化された病棟です。

急性期の患者様や慢性期の患者様、身体合併症の患者様が入院されていますので、患者様の治療方針を考慮しながら患者様のご意向を大切にし、個々に応じた療養環境の提供、看護・介護を行っています。また、患者様が 1 日も早くその人らしいライフステージが送れるように病院理念を大切にし、多職種・他部署と連携を図りながらケアの提供を行っています。



臨床心理室

臨床心理室では、心理検査やカウンセリングを通して、「こころ」のお悩みを抱えた方やご家族の皆様の問題解決のお手伝いをしています。様々なお悩みに寄り添って、一緒によりよい道を探していくけたら幸いです。

今年度から新メンバーが加入しました。社会人 1 年目のとてもフレッシュな男性で、1 日でも早く仕事を覚えようと一所懸命頑張ってくれています。新しい体制になり、これまで以上に患者様のお力になれることをスタッフ一同目指していきます。

和気あいあいとした部署なので、ピンクとブルーの白衣を目印に、どうぞお気軽に声かけ下さい。



栄養科

1日におよそ700食のお食事を提供しています。食事を医療の一環としてとらえ、患者さまおひとりおひとりの病状や栄養状態・身体状態にあわせた食事の提供をしています。また、食事は適時適温・衛生管理を徹底しており、安心安全の食事提供に努めています。入院中でも食事を通して季節を感じ、楽しんでいただけけるよう月に1~2回行事食の企画をしております。

管理栄養士における栄養食事指導・栄養相談も実施しており、日々の食生活についてアドバイスをおこなっております。

食事・栄養についてご質問がありましたらお気軽にご相談ください。



認知症訪問看護



看護師1名と作業療法士1名の小さな部署です。当院の外来患者さんのうち高齢の方を中心にご自宅などを訪問させていただいています。年々過酷な気象環境も加わり、訪問したときに体調不良を訴える方も増えております。小さな体調の変化のサインを見逃さないこと、食事や空調など生活に必要な環境を整えることなどに気を付けながら、患者さんやご家族が安心して生活できるよう手助けができることを願っています。

精神科訪問看護

精神科訪問看護は、地域で生活されている患者様・ご家族の了解を得て、医師の指示の下、看護師・准看護師・作業療法士または精神保健福祉士の2名体制で訪問しています。

訪問をしている状況で、いつも訪問を快く受け入れて下さる、患者様・ご家族に感謝の気持ちで一杯です。少しでも皆様方から“訪問に来てもらってよかったです”と思っていただけるよう、支援させていただきますので今後ともよろしくお願ひいたします。訪問についてご質問・ご相談がありましたら遠慮なくお声かけください。



医療相談室

医療相談室では、患者さまやご家族が安心して治療を受けられるよう、さまざまなお相談に対応しております。「どこに相談すればよいかわからない」「治療や通院について不安がある」「福祉制度や利用できる支援について知りたい」など、どうぞお気軽にご相談ください。



認知症疾患医療センター

認知症疾患医療センターでは電話や来院による、ご本人・ご家族・関係機関からの相談対応や、認知症疾患に関する鑑別診断、認知症に伴う行動心理症状に対する急性期治療、地域の保健医療・介護関係者への研修会等を行っています。

「最近物忘れが多くなった」「何か様子がおかしいかも…」など少しでもご心配なことがあれば、いつでもお気軽にご相談ください。



放射線室

放射線室では、検査内容を患者さん一人一人に合わせながら、適切な検査を行っております。X線を利用する一般撮影装置や、超音波（エコー）を利用する超音波診断装置、それらの画像を表示するCR画像診断システムを活用して、日々の画像診断検査に取り組んでいます。また当院隣にある同法人の荒尾中央病院にてCT検査も可能です。

診療放射線技師は各種画像検査において、患者さんの協力を得ながら、放射線被ばくを始めとする安全性に十分注意を払って撮影を行います。また、装置が正常に働くように整備や管理を行います。

今後もみなさんが安心して検査が受けられる環境を目指して行きたいと思います。

画像関連・検査についてご質問ございましたら、
お気軽にご相談ください。



検査室

検査室では臨床検査技師が血液・尿・便・心電図・新型コロナなどの検査を対応しています。

病気の予防や早期発見、治療効果の判定のお手伝いができるよう機器の精度を保ち、迅速で正しい検査情報の提供を心掛けています。



精神科作業療法室

精神科治療のひとつとして「作業療法 (Occupational Therapy : OT)」があります。

精神科の作業療法は、精神疾患により生活に障がいを持った方々に対し、個別あるいは他の人たちとの関わりや、具体的・現実的な作業活動（遊び・創造的なものから日常生活に関するものまで）を利用し、精神機能の向上、対人関係の改善、作業能力の改善などを図り、その人にとってより良い生活が送れるように、指導・援助を行っていきます。

【作業療法の目的】

1.人と人との交流

さまざまな活動を通して、人との交流の場を提供し、援助を行ないます

2.自分らしく

自分自身を表現できる居場所を保障し、存在価値を確認して、自信が持てるように援助します

3.心身の健康

身体を動かすことで、体力の維持向上を援助し、生活リズムを整えます

各病棟に専属の作業療法士があり、病棟の特色に合わせた作業療法を実施しております。

対象者一人一人に寄り添い、よりよい支援を提供することが、私達、作業療法士の大きな目的の一つです。



精神科ディ・ケア

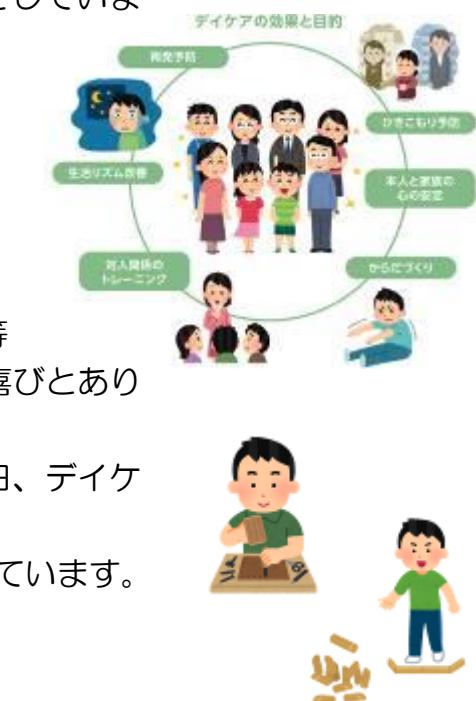
ディ・ケアでは地域社会で生活されている方を対象に、活動を通して、人との交流や居場所の提供とともに、安定し充実した在宅での生活が送れるように、趣味的な活動を取り入れたり、身体能力の維持向上を目的とした活動をしたり、集中して行うことで、精神的な安定や気分転換につながる活動を行うことで、生活の支援をしています。また、就労を希望される方への支援も行っています。

◎精神科ディ・ケアの目的

- ・規則正しい生活リズムを身につける
- ・人との付き合い方を学び、仲間を作る
- ・社会的自立の準備を行う

【プログラムの例】

1. スポーツ；ゲートボール・モルック・野球・ボッチャ等
2. 革細工；作品を作る喜びと使う喜びとプレゼントする喜びとあります。
3. イベント；ゲートボール大会、夏祭り、デリバリーの日、ディケア感謝祭など、楽しみなイベントも実施しています。
4. 買い物ツアー；日用品や生活雑貨等々、1回/週に行ってています。



重度認知症ディ・ケア 「にじの郷」

重度認知症ディ・ケア「メディカルディケア にじの郷」は、地域で生活されている認知症の方の通所施設です。

具体的には以下のような支援を行っています。

- | | |
|-----------------|----------------|
| ○行動心理症状・精神症状の緩和 | ○規則的な生活リズムの維持 |
| ○認知機能等の活性化 | ○意欲の向上や対人交流促進 |
| ○介護家族の休息支援 | ○介護・医療に関する相談対応 |

これらの支援を行うために、体操、創作活動、脳トレ、レクリエーション、リラクゼーション等のプログラムを、リハビリテーションとして集団・個別で実施しています。

医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士の各専門職がチームとして関り、心地よい環境を提供することで心身機能を維持し、その人らしい在宅生活が継続できるよう支援しています。



V. 活動報告

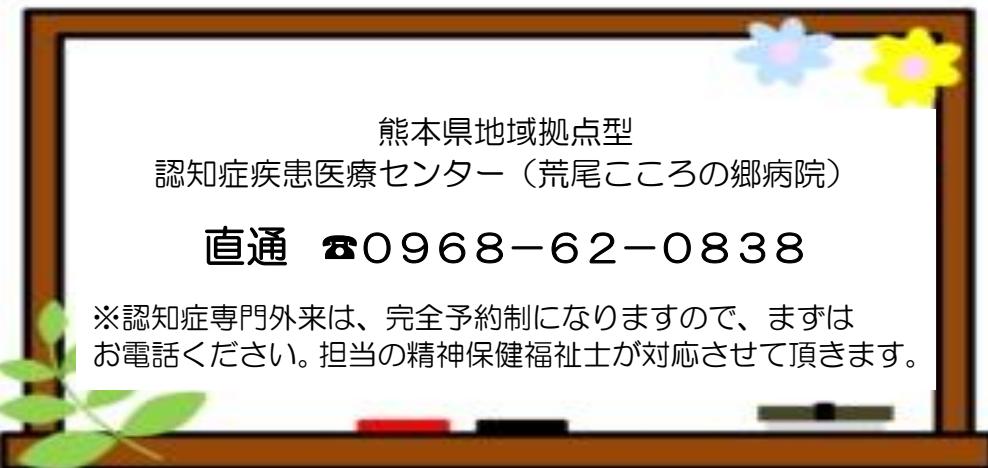


熊本県地域拠点型 認知症疾患医療センター

平成 23 年 4 月に熊本県の指定を受け、開設されました。

認知症の方やご家族のみなさんが住み慣れた地域で、安心して生活を送ることが出来るように行行政や地域の医療機関、介護事業所等と連携を取りながら、ひとつひとつ のケースに対応させて頂いています。

「最近、ちょっと様子が変わったな?」「もしかして認知症かな?」と少しでもご心配の方がおられましたら、お気軽に当センターへお電話ください。



令和 6 年度 活動内容

- ・地域拠点型認知症疾患医療センター 事例検討会 現地開催
- ・日本老年精神医学会 口頭発表
- ・日本認知症ケア学会 口頭発表
- ・AMED 日本医療研究開発機構（認知症研究開発事業）
「大規模前向きコホートデータを基盤とした認知症のゲノム・脳画像研究」
研究協力 九州大学
- ・在宅認知症者と介護家族のソーシャルサポート獲得 ICT 支援プログラムの評価に
関する研究協力 熊本県立大学
- ・認知症者の在宅生活を維持する非訪問型の生活評価・介入システムの標準化に
関する研究協力 大阪大学
- ・荒尾市地域共生社会研修 熊本県立大学安武研究室ゼミ
- ・初期集中支援チーム員会議、地域ケア会議等への参加



令和 7 年度も地域に対する認知症の普及啓発のため、各種研修会・事例検討会等を
予定しております。沢山の方々のご参加を心よりお待ちしております。

グループホーム「わたぼうし」

「わたぼうし」は、障害をかかえ地域生活に不安がある方や地域での自立した生活を目指している方などを支援する施設として、平成23年6月に開設しました。

落ち着いた明るい雰囲気で共同生活を送ることができるように、暖かい家庭をイメージした作りになっています。

利用者の方たちは、就労支援事業所やデイケアなどに通所して、それぞれの目標に向けて過ごしております。スタッフも毎日笑顔でそれを見送っています。

これからもよろしくお願いします。

「わたぼうし」の名称は、
“タンポポの綿毛のように地域に根付いていけるように”との願いを込めてつけました♪



施設の概要

種類 精神障がい者 共同生活援助事業所

定員 5名（女性専用）

居室 全室個室（洋室）エアコン完備

設置主体 医療法人 洗心会

協力医療機関 「荒尾こころの郷病院」

名称 グループホーム『わたぼうし』

所在地 〒864-0051

熊本県荒尾市大島字松原 52 番地2

TEL 0968-62-2588





ACS（アルコール教室）



毎月第2,第4月曜 14:00~15:00 開催

同じ問題を抱えるメンバーとの交流を通して、アルコール依存症やアルコールによる健康被害についての学習を深めながら、自らのアルコール問題を語り合い、自分を見つめなおす場です。

教室の名前は Alcohol cram school (アルコール塾) の略称で、メンバーさんからのアイデアです。

どんなことをしているの？

- ・脳トレ（間違い探し、ゲームなど）

アルコールの多量摂取により、脳の萎縮や機能低下が起こりやすくなりますので、脳の活性化を目指しています。



- ・おたがいの近況や思いを語る

皆さんに順番が回ってきますが、発言は強制ではないので、パスもできます。

- ・アルコール依存症やアルコールの害についての学習

動画やテキストを使って勉強していきます。など

スタッフからのメッセージ

入院・外来問わず参加できます。堅くるしい勉強会ではなく、和気あいあいと過ごしています。希望者には、外部の自助グループ（断酒会や AA）をご紹介することもできますので、興味のある方は、主治医やスタッフにお尋ねください。

※上手なお酒の飲み方(節酒)を知りたいという方も、ご相談ください。



V

家族会会議

家族会会議では、荒尾こころの郷病院へ入院・外来通院されている方のご家族を対象に運営している病院家族会「青空会」の活動への協力や同会の行事などへの参加案内などを行なっています。

◎令和6年度 青空会 活動報告



月	行 事
4	役員会
5	役員会
6	役員会 青空会総会／書面開催
7	役員会
8	役員会
9	青空便り発行
10	役員会
11	役員会
12	役員会
1	役員会
2	役員会
3	役員会 青空会家族交流会

V

栄養科 令和6年度行事食

月	日	行事食
令和6年4月	26日	春御膳
5月	2日	こいのぼりランチ
6月	21日	タイランチ
7月	8日	七夕御膳
	24日	土用丑御膳
8月	20日	中華ランチ
9月	17日	敬老の日御膳
10月	31日	ハロウィンランチ
11月	28日	秋の味覚御膳
12月	25日	クリスマスランチ
令和7年1月	1日	おせち料理
2月	3日	節分ランチ
	14日	バレンタインランチ
3月	3日	ひなまつり御膳



春御膳



タイランチ



クリスマスランチ



ひなまつり御膳

V

レクリエーション紹介

当院では、年間を通して、各病棟・部署別でレクリエーションを行っています。

患者様のために、少しでも楽しみの一つとなるようレク委員が中心となって、他職種と連携しながら季節に合った企画を考えています。当院の一大イベントである秋マルシェにも力を入れています。

◎年間レクリエーション紹介（令和6年度）

	院内レクリエーション	病棟レクリエーション
4月		お花見
5月		端午の節句 宝探し
6月		茶話会 風船バレー大会
7月		七夕飾り ソーメン流し スイカ割り
8月		スイカ割り かき氷大会 ミニ夏祭り
9月		敬老会
10月	くませいフェスタ	ミニ運動会
11月	秋マルシェ	カラオケ大会 お楽しみ大会
12月		クリスマス会 忘年会
1月		新年会
2月		節分 茶話会
3月		ひな祭り 茶話会





フォトコンテスト作品
「境内を走るハウステンボス号」



フォトコンテスト作品
「MOON」

VI. 新入職員紹介



作業療法士 田村 咲菜

令和6年8月より入職させて頂きました、作業療法士の田村咲菜です。

認知症デイケア「にじの郷」に所属されてからあっという間に1年が経ちました。デイケアは初めてで分からぬことばかりでしたが、優しいスタッフの皆様に支えられて業務に慣れることができました。まだまだ勉強不足で未熟者ですが、利用者様に優しく寄り添えるような作業療法士になりたいと思います。

趣味は旅行、ドライブ、バスケなど休みの日はアウトドアに活動しています。バスケは小学生からやっており、今も週2回ほど頑張っています。あとはお酒が好きで福岡の美味しいお店を探すことにはまっています。おすすめのお店がある方はぜひ教えてください！

あまり他の部署の方とお話しする機会がないですが、仲良くしていただけたらと思います。よろしくお願ひします。



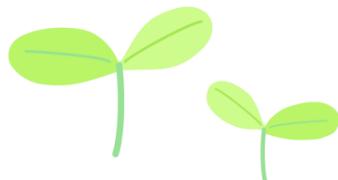
看護師 多田隈 省吾

令和7年4月から南1病棟に入職しました、看護師の多田隈省吾です。

就職して働くのが初めてで精神科という病気だけでなく患者様一人一人違う個性を大切にしていくというのが難しく日々の業務に追われています。患者様が少しでも安心して生活できるよう、患者様とより多くお話をし、現在ある悩みや不安を聞き出せるようにコミュニケーションを大事にしています。

休日は、友達と遊んだり、旅行に行って綺麗な風景の写真を撮ることが好きです。最近は映画観賞をすることにハマっていて一番好きなハリーポッターを何回も見ています。

これからも迷惑をかけることが多いと思いますが、自分の出来る事を一生懸命行なっていくので、よろしくお願ひいたします。





看護補助者 大瀬戸 千賀子

昨年 11 月に入職しました、西 1 病棟の大瀬戸千賀子です。

最初は不安や戸惑いもありましたが、先輩方からご指導いただきながら、10 ヶ月が経ちました。まだまだ分からぬ事だらけでご迷惑をおかけすると思いますが、一つ一つ頑張って行こうと思いますので、今後とも、よろしくお願ひ致します。好きなものは、動物や小物づくりなので、同じ趣味のある方等は、お気軽にお声かけください。



精神保健福祉士 上村 いくみ

令和6年9月に入職しました、上村いくみです。認知症疾患医療センターの連携担当者として入職し、4月からは医療相談室の業務を行っています。これまで地域包括支援センターや総合病院で医療ソーシャルワーカーをしていました。精神科病院で働くのは初めてで、戸惑うことばかりですが、頼りになる先輩方に教えていただき、勉強の毎日です。

休みの日は夫とドライブに出かけることが多く、時には車中泊をして遠方に出かけ、その地域の名物を食べることを楽しみにしています。

まだまだ慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、一生懸命、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院年報

2024(令和 6)年度

2025年 10月刊行

編集・作成 広報委員会

河野美佳

古賀皓民

原口夫美

今林磨美

木下幸美

木村浩美

塚本光章

福市来瞳

宮西秀明

医療法人 洗心会

荒尾こころの郷病院

病院長 石川 智久

〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾 1992 番地

TEL 0968-62-0657

FAX 0968-62-2565